

会議要録

会議の名称	令和7年度 第3回和光市文化財保護委員会
日 時	令和8年3月24日(火) 15:00~16:30
場 所	和光市役所 6階 602会議室
出 席 者 ※敬称略	【文化財保護委員】委員8名が出席 田中明、鈴木敏弘、並木實、森朋久、岩田昌之、保科裕、 白井和広、浅野里香 【事務局】 [教育委員会] 石川教育長、横山部長 [生涯学習課] 細野課長、山本課長補佐兼文化財保護担当統括主査 文化財保護担当 大澤主事
傍 聴 者	0名

1 開会

- 1 市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
- 2 配布資料について説明。

2 教育長あいさつ

3 議題(協議・報告)

(1) 令和7年度文化財保護事業概要報告について

議題(1) 令和7年度文化財保護事業概要報告について資料に基づき説明。

○田中委員長

事務局の報告について、質問やご意見などはあるか。

○並木委員

午王山遺跡保存整備検討委員会について、会の目的等を改めて確認したい。

○事務局

午王山遺跡保存整備検討委員会の内容について、今後午王山遺跡を整備していくにあたり、整備計画を作成する前段階の大筋を固めるための委員会であ

る。委員は専門家で構成し、そこで出た意見等を踏まえ翌年度に整備策定委員会を発足し計画を策定していく予定である。

○鈴木副委員長

試掘・発掘調査の報告があったが、発掘の現場については注意点がいくつかある。周知の埋蔵文化財包蔵地とその隣接地について、調査の有無に関する問い合わせなどはよくあり、誤解がないように説明する必要がある。

また、本発掘実施となった際の発掘業者選定など、依頼側の判断力が重要となるため引き続き真摯に埋蔵文化財行政に努めていただきたい。

○森委員

新倉ふるさと民家園の来園者数について、昨年度より来園者数減少した考えられる要因を挙げられていたが、長期間の記録を確認しない限り傾向を見極めるのは難しいと思う。管理する立場として来園者数を意識することは大事ではあるが、数字だけにとらわれず、実施しているイベントの内容などに着目するほうが重要かと思う。

○鈴木副委員長

新倉ふるさと民家園の運営について、民間委託として十分に活動いただいていることが報告で分かった。その一方で民家園は、博物館的な施設というか、民俗学的側面と、歴史学的側面を持っており、近世において農村であったこの地域の歴史学習の拠点としてあるべき場所だと認識している。その場所の基本となるのが学芸員の存在である。

人事に関する話になってしまうが、ぜひ地域の歴史や文化を熟知した専門性のある人材を育てるように検討していただきたいと思う。

○田中委員長

学芸員や専門職の配置など、人事に関することはとても複雑ではあるが、今後の和光市の豊かな文化を守り育てていくためにはとても重要な指摘であり、文化財保護委員の総意かと思う。

○浅野委員

午王山遺跡の土地交渉について、現状管理している土地の範囲や、将来の見通

しなともう少し詳しく説明いただけるか。

○事務局

午王山遺跡の公有地化については、3割ほど進んでいる現状である。現在、住宅がある土地が大半であるが、史跡指定時に最終的に公有地とすることに同意をいただいております、引っ越し等の際には市にお声がけいただくようにお伝えしている。長い期間を要する事業となるが着実に進めていく予定である。

○白井委員

新倉ふるさと民家園を管理運営する和光市古民家愛好会の体制について、会長などはどのように選出しているのかを知りたい。また、来園者数を意識したイベントの実施もよいが、先ほどの鈴木副委員長の意見にもあったように、来園者に対し文化財に関する詳しい説明などの対応が十分にできているのか。前提としてそこまでの博物館的要素を重視していないのか、その方針についてもお聞きしたい。

○事務局

新倉ふるさと民家園の運営については、和光市古民家愛好会という市民団体と協働委託という形をとっている。会長に関しては、愛好会の中で選ばれた方に引き受けていただいている。

○鈴木副委員長

市職員が常駐していない体制で問題ないか。民家園の運営や年間予定等は把握できる体制であるのか。

○事務局

愛好会には、基本的には民家園全体の日常管理をしていただいているが、民家園の主屋、市指定文化財の旧富岡家住宅については市が責任をもって管理している。また、運営や日常管理については月に一度、市と愛好会が打合せし、どのように管理運営してくかについて調整している。イベント開催時には市職員も参加している。

愛好会発足時には、市職員が主導で愛好会サポーター養成講座を実施し、専門

的な説明をできるように育成する形を取っていたが、継続的にできていない時期もある。

管理運営に関してご指摘のとおり課題はあるが、専門的な施設であることを念頭に運営を進めていきたい。

○田中委員長

愛好会の体制について複雑だとは思いますが、市職員 OB や地域に長く住む方々が多く、個人的には頼もしくも感じている。運営する上で地域との関わりも重要かと考える。鈴木副委員長の意見も参考にしつつ、愛好会の方々とうまく運営していただきたいと思う。

○田中委員長

他に意見等無ければ、次の議題に進む。

(2) 令和8年度の主な予定事業について

議題(2) 令和8年度の主な予定事業について資料に基づき説明。

○田中委員長

事務局の報告について、質問やご意見などはあるか。

○保科委員

講座をいくつか予定されているが、今後は参加者の感想や意見を公開していくことを検討してはどうかと思う。その後の展示会や講座等の改善に繋がり、講師を務める人に参考になると思う。

来年度の講座事業に関連して2つご相談させていただきたいことがある。

今年度刊行予定の報告書において、生涯学習課よりお話をいただき、午王山遺跡について地質の観点から寄稿した。この内容を元に、次回の文化財保護委員会にて午王山遺跡に関するプレゼンをさせていただきたく思う。

もう一つは、私の所属する地学団体研究会の研修にて、10月に午王山遺跡をテーマに扱いたいと考えている。貴課にこの研修の遺跡の概要説明等にご協力いただきたい。また、以前より午王山遺跡への関心が高まるなかで、会員以外、つまり市民の人々も含めた講座の実施も考えている。今年度の研究会内の研修を足掛かりに、来年度以降に市民向けの講座実施へと進めていけたらと考える。

○事務局

次回の委員会のプレゼンについては、ぜひ依頼したく思う。講座に関しても、後ほど詳細を確認し計画したい。

○鈴木委員

今年度はボーリング調査も実施するとのことだが、保科委員の研究や取り組みに活用することはできるか。

○保科委員

活用できると思うが、私がイメージしている午王山遺跡の地層の成り立ちと実際のボーリング調査の結果がうまく一致するかは分からない。

○岩田委員

文化財の防災という意味で地盤調査を実施する場合は、崖崩れの滑り線を出すために最低 10m 以上掘る必要がある。そのため今回はかなり深いボーリングを計画されていると思う。調査では必ずコアを取り、そのサンプル土壌の中から採れる土粒子を分析すると有用なデータが取れると思われる。

○岩田委員

別件で一つ、午王山遺跡について、前回の委員会にて復元住居について話があったが、模型を作ってみたのでご覧いただければと思う。報告書にある第 100 号住居と第 108 号住居の 100 分の 1 にしたものである。4 本の柱のピットしか確証あるものがなく、上物が分かる資料がなかったため推測の形となっている。午王山遺跡に実際作るとなると、根拠のある上物の形を作る必要があると思うので、専門の方に教えていただいて作れたらと思う。見積もりを業者に依頼するにも見せるイメージがあった方が伝えやすいと思う。また、史跡の上に作るとなると現状変更のための手続きや準備が大変である。いっそのこと民家園の庭など関係のない土地で子どもたちと作ってみるワークショップに繋げるなど、史実など特に縛りのない条件で一度作ってみるのも一つの手かと思う。作った模型は置いていくので参考にさせていただければと思う。

○鈴木副委員長

作っていただいた立体を直接見ると、文字などで説明されるより、はるかにイメージしやすいことが分かる。遺跡は特にその特色がある。費用等の問題があるかとは思いますが、一番望ましいのは実際の住居跡の上に作ることである。

午王山遺跡が史跡に登録される前、午王山に広い道路ができた時に住居址の図面を道に描いてみてはと考えたことがある。見に来た人はもちろん、遺跡の上に住んでいる人々も自分たちが遺跡の上に住んでいるということが分かると思ったためである。その場所で人々に知らせる仕組みが今後の整備で重要になってくる。復元住居が一番分かりやすい例だと思う。

○浅野委員

鈴木副委員長や保科委員、岩田委員からのお話を聞いて、文化財保護委員会にはそれぞれの分野に精通した委員がいるのだから、それを活かし『午王山学』と銘打った、午王山遺跡を学ぶ機運となる企画を展開することが望ましいと思った。様々な視点から講座を開くことで午王山遺跡を知る人、午王山遺跡のファンを増やしていけると考える。人寄せのイベントというよりは、学びに注力した質の高い講座を開くことを目的とし計画を立て、今年は地質学、来年は建築学のように毎年着実に積み重ねられるようなものが出来たら理想である。最初は先ほどの竪穴式住居の模型を作ってみるなどの講座は取っ付きやすいのではないだろうか。

○田中委員長

その他、ご意見などはあるか。

→委員一同：特になし

(3) その他

○委員長

「議題(3) その他」について、事務局より説明願いたい。

- ・令和7年度 寄附いただいた民具について 報告。
- ・白子囃子 楽譜化検討について
和光市白子囃子保存会より楽譜化の相談あり。実施検討中。
- ・古文書研究会 資料データ化について
寄贈いただいた資料をデータ化し、「れきたま」にて公開予定。

○委員長

他に協議がない場合は、これで協議課題として挙げられた事項の審議は終了とし、事務局に進行をお返しする。

○事務局

今後のスケジュールに関して、次回の会議は6月以降の開催予定となる。日程が決まり次第お知らせする。

7 閉会

以上。